



# 先輩職員インタビュー

Staff interview



障がい者の視点を持ち、様々な課題を解決できるような職員になりたいです

【現所属】 経営管理部 総務課

経歴

- 令和2年4月1日入庁 総合政策部 総務課  
**主な業務** 職員の福利厚生、職員証、職員台帳関係事務
- 令和4年4月1日 経営管理部 総務課  
**主な業務** 障がい者雇用、職員の福利厚生に関する業務

- 令和5年4月1日 経営管理部 総務課  
**主な業務** 障がい者雇用、就業管理システムや職員のサービスに関する業務



どのような時にやりがいを感じますか？

全国的に働き方のニーズやライフスタイルが多様化する中、大田原市役所でも職員一人一人異なるワークライフスタイルを可能にするための仕組みが導入されています。

制度の内容も、毎年のように変更や追加があり勉強が重要ですが、中でも苦勞をしているのは法律や条例などを読み解くことです。

独特な言い回しや分法があり、理解に苦勞をしています。

しかし、そのように習得した知識で相談に乗り、職員が安心して働ける一助になっていることにやりがいを感じます。

入庁前後の印象を教えてください

公務員は窓口業務というイメージがありました。入庁してみると想像以上にいろいろな種類の業務があると感じました。

また、私は障がいのため普段の生活から車椅子を利用しています。定期的な通院が必要なので、休暇を取得でき

るのか不安でしたが、休暇制度や時差出勤等を活用し無理なく働くことができています。

職場環境についても、座席の位置や動線など様々な配慮をいただき、庁内の相談環境も整っていると感じます。

今後について

知識とスキルを磨き、一人ひとりの声を丁寧に聞いて、相手に寄り添えるような職員になりたいです。

また、業務について漫然と前年踏襲を行うのではなく、業務の内容や目的を理解しながらより良いものに変えていけるように頑張りたいと思います。

上司からの一言

障がいを持つというハンディキャップを持ちながらも、明るさと行動力で課の一員として活躍してくれています。

新規採用職員の指導や、電話対応なども丁寧に持ってあり、業務についての知識も十分に持ってあり、安心して仕事を任せられます。

今後も大田原市の職員として長く活躍してくれることを期待しています。

市役所試験ではどのような対策をしましたか？

筆記試験に関しては、公務員試験の参考書を用いて1年ほど前から勉強を始めました。

思い返すと、数学が好きだったので、数的処理や判断推理の勉強を重点的に行っていました。半面、英語は苦手でしたので、ほとんど手を付けませんでした。

2次試験の面接や作文試験は、大学のキャリアセンターの方に相談に乗ってもらったほか、同じ公務員志望の同期と集まり模擬面接やテーマに沿った小論文を繰り返し作成するなど、場数を踏むことを意識しました。

受験生へメッセージ

市役所には様々な種類の業務があり、障がいの有無に関係なく輝ける場所があると思います。

一緒に仕事ができることを楽しみにお待ちしております。